

第44回（2023年度）C V S（Certified Value Specialist）認定試験

1. 受験資格要件

C V S 認定試験を受験するためには、1) V E 学習経歴、2) V E 実務経歴、3) V E 研究論文又は V E 実践論文の執筆・公表、の 3 要件を全て満たしていなければなりません。

「C V S 認定試験受験申請書（以下「申請書」という）」での書類審査で 3 要件全てを満たしていると認められなかった場合は、筆記試験を受けられません。

1) V E 学習経歴

次の(1)又は(2)のいずれかを満たしていること。

(1) 米国 V E 協会が認定しているバリュー・メソドロジー・ファンダメンタルズ（以下「VMF」という）1 及び 2、又は 72 時間以上の V E ワークショップ・セミナーを受講・修了していること。

(2) 次のいずれも満たしていること。

① V E スペシャリスト資格の登録者であること。

② バリューデザインスクールの対象講座（次の表を参照。ただし、V E S 受験時に「V E 学習経歴」で申請したものは不可。）を 3 日（1 日開催の講座を 3 つ、若しくは 2 日間講座 1 つと 1 日開催の講座を 1 つ）受講・修了していること。

講座名	開催日程	開催方法
実行力を高める調達・購買①調達・購買機能の役割とスキル	2023年6月9日（金）	Teams
実行力を高める調達・購買②調達・購買活動の要諦と組織能力	2023年6月16日（金）	Teams
機能の整理法	2023年6月21日（水）	Teams
VEの原点的思考（機能分析中心）	2023年7月13日（木）	Teams
企画段階のVE	2023年7月21日（金）	Teams
VEで活用するアイデア発想	2023年8月28日（月）	Teams
開発設計のVE	2023年9月25日（月）～26日（火）	Teams
VEに活かす“数字力”養成	2023年9月28日（木）	Teams
VEを組織的に適用するためのマネジメント	2023年10月3日（火）	Teams

（提出書類）

- ① 申請書の様式 2
- ② 講座修了証の写し

※ 申請書様式 7 の“申請内容が事実と相違ないことの証明者（以下「証明者」という。）”が第三者の場合、②は提出不要。

2) VE実務経歴

次のカテゴリ1～4の要件を全て満たしていること。

カテゴリ1：VE実践活動

(1) 6件以上のVEチーム活動（フォーカス・スタディ）に参加し、その活動時間が合計で24点あること【10時間につき1点、端数時間は切上計算】。

(2) 6件のうち3件をファシリテーション実践活動として申請し、この活動については1件ごとにファシリテーションをした段階として機能定義・機能評価・アイデア発想のいずれか1つを他の2件と重複しないように取り上げ、申請書に次の通り記載する。

ファシリテーション実践活動 #1 － 機能定義

ファシリテーション実践活動 #2 － 機能評価

ファシリテーション実践活動 #3 － アイデア発想

(3) なお、6件の活動で活動時間の合計が24点に満たない場合は、さらに4件まで（計10件まで）追加することができる。

(注1) 活動時間とはVEチーム活動の中でVE実施手順が適用された時間のことをいい、プレVEでの情報収集・個別検討やポストVEでの改善案実施会議はこの活動時間に含めない。ただし、プレVE又はポストVEの時間内でも、チームメンバー全員が参加し、VE実施手順の一部がファシリテートされた部分は、活動時間とみなすことができる。

(注2) 1件につき2.4点（24時間）以上必要で、5.6点（56時間）まで申請できる。この時間にはファシリテーションをした時間を含むが、ファシリテーションをした時間数については不問とする。

(提出書類)

① 申請書の様式3

② 機能分析の実施を示す資料【例：機能一覧表、機能系統図、機能評価シート】

③ そのVEチーム活動でのVE実施手順（ジョブプラン）を示す資料

④ そのVEチーム活動のメンバー一覧（申請者の役割を明記のこと）

⑤ そのVEチーム活動の期間と時間を示す資料

※ 申請書様式7の証明者が第三者の場合、②～⑤は提出不要。

カテゴリー2：V E学習活動

次の(1)～(6)で、合計30点以上（端数時間は切上計算）

(1) V Eに関する研究会又は勉強会等に参加した場合	1点／10時間
(2) V Eに関する大会・セミナーに参加した場合 ※ 例：V E全国大会、V E関西大会、V E西日本大会等	1点／10時間
(3) V Eに関する講座、研修会を受講した場合 ※ 前頁の「V E学習経歴」で申請したものは不可	1点／10時間
(4) 大学でV Eに関する授業を受けた場合	1点／ 1単位
(5) 次のいずれかに該当している場合 a. 4年制大学以上を卒業 b. 短期大学又は高等専門学校を卒業後、企業でV E関連業務（原価管理を含む）に2年以上従事 c. 高校を卒業後、企業でV E関連業務（原価管理を含む）に4年以上従事	20点
(6) 次の国家資格又は博士号を取得し、登録している場合 ※ 技術士、公認会計士、1級建築士、中小企業診断士、弁理士、税理士、弁護士 ※ 上記資格及び学位の中からいずれか1つのみ可	5点

（提出書類）

- ① 申請書の様式4
- ② 申請した活動についての証明資料（(1)～(4)については、その内容が次の“9つのコア・コンピテンシー”のどれと関連しているかも示すこと）

(1) V E	(4) 機能分析	(7) V Eワークショップ段階
(2) 情報の変換	(5) 会計（コスト）	(8) ポストV E段階
(3) ファシリテーション	(6) プレV E段階	(9) V E管理

※ 申請書様式7の証明者が第三者の場合、②は提出不要。

カテゴリー3：ファシリテーション学習活動

米国V E協会認定の、又は下記の1つ以上を教育目的としているファシリテーション講座の受講・修了で2.4点以上（10時間につき1点）。且つ、2.4点のうちの1.6点以上は、ファシリテーションの演習であることが必要。

- (1) チーム・ダイナミクス（集団力学）を管理する
- (2) チームを動機づける
- (3) コミュニケーション・スキルを表現する
- (4) タイム・マネジメント・スキルを表現する
- (5) 情報を導き出す
- (6) ファシリテーションのコア・プラクティスを思い出す
- (7) チームに目的達成への焦点を当て続けさせる
- (8) チームを合意形成に導く

➡ バリューデザインスクールの場合は、対象講座（次の表を参照）を4日受講・修了していること。

講座名	開催日程	開催方法	★：必須 ◎：いずれか1つ必要
ファシリテーション入門	2023年6月29日（木）	Teams	◎
参加者から情報を導き出す質問とフレームワーク	2023年7月25日（火）	Teams	◎
VE活動で求められるファシリテーションの実践（全3日）	2023年8月24日（木）・9月5日（火）・9月14日（木）	Teams	★
話し合いをデザインする技術 ～ファシリテーションのコアスキル	2023年10月17日（火）	Teams	◎

（提出書類）

- ① 申請書の様式5
- ② 申請した講座についての証明資料（その講座の教育目的が前頁のどれであるかも示すこと）

※ 申請書様式7の証明者が第三者の場合、②は提出不要。

カテゴリー4：VE専門的活動

次の(1)～(4)で合計10点以上（端数時間は切上計算）

(1) VEに関する論文、著書、学位論文等を執筆し、専門家の審査を経て発表又は発行した場合 ※ 同頁下の「VE研究論文又はVE実践論文の執筆・公表」で申請するものは不可 ※ 共著の場合は、比率配分する		6点／1編
(2) VEに関する新聞記事・社内報等を執筆し、専門家の審査を経ずに発行した場合 ※ 共著の場合は、比率配分する		2点／1編
(3) VEに関する発表・講演等を公開の場で30分以上行った場合 ※ 社内での発表・講演等は不可		1点／1回
社会貢献活動への支援 VEに関する非営利法人の	(4) a. 申請者本人又は申請者の所属組織（法人・団体又はその事業所・工場等）が会員として、その法人の社会貢献活動を支援した場合	1点／1年
	b. その法人の社会貢献活動にリーダー又はメンバーとして直接参画した場合 ※例：震災復興支援活動	1点／5時間
	c. 支部組織に参画し、その法人の地域貢献活動を支援した場合 ※ 例：支部運営委員	4点／1年
	d. 支部長又は副支部長に就任し、その法人支部組織の地域貢献活動を支援した場合	8点／1年
	e. 本部の委員会組織に参画し、その法人の社会貢献活動を支援した場合 ※ 例：委員	4点／1年
	f. 委員長又は副委員長に就任し、その法人の社会貢献活動を支援した場合	8点／1年
	g. 役員（例：理事、監事）に就任し、その法人の社会貢献活動を支援した場合	10点／1年

(提出書類)

- ① 申請書の様式 6
- ② 申請した活動についての証明資料 ((3)については、その内容が前頁の“9 つのコア・コンピテンシー”のどれと関連しているかも示すこと)

※ 申請書様式 7 の証明者が第三者の場合、②は提出不要。

3) V E 研究論文又は V E 実践論文の執筆・公表

- (1) 申請者が単独（共著であっても第一執筆者※であれば可）で執筆し、専門家の審査を経て公表した、又は公表予定の V E に関する論文があること。

※ 第一執筆者：その論文執筆に主となって取り組み、執筆者の中で最も貢献度が高く、内容について最も大きな責任をもつ者。

- (2) 公表論文とは、V E 全国大会の発表論文、本会バリュー・エンジニアリング誌掲載の査読論文、学会の審査を経た発表論文、米国 V E 協会が主催する V E 国際大会の発表論文など本会『審査・認定委員会』の資格認定部会（以下「資格認定部会」という）が認めたもののことをいう。社内での活動事例や社内限定の論文は、公表論文と認められない。

(提出書類)

- ① 申請書の様式 7
- ② 申請した論文についての証明資料

※ 申請書様式 7 の証明者が第三者の場合、②は提出不要。

2. 試験実施要領

日 時	2023年11月18日(土) 13：30 ～ 16：30								
会 場（予定）	東京、他								
試験方式	記述式（事前に書類審査があります）								
受験料（税込）	33,000円								
受験料以外の 必要料金（税込）	合格者には、登録料33,000円と、2年おきに再認定料16,500円（再認定を申請しない場合は不要）を別途納入していただきます。								
受験料の納入	2023年10月20日(金)まで								
申請受付期間	2023年10月20日(金)まで								
申請方法	所定の申請書を電子メールで本会に提出								
受験票の送付	発送日：2023年10月27日(金)（予定） 送付先：申請者の自宅（普通郵便、会場案内図同封）								
受験のキャンセル	※ キャンセル料 <table><tr><td>0 円</td><td>16,500円</td><td>33,000円</td></tr><tr><td>2023年11月15日(水)まで</td><td>2023年11月16日(木) 及び2023年11月17日(金)</td><td>2023年11月18日(土)</td></tr></table> ※ 申請者の都合によるキャンセルの場合、受験料返金時の振込手数料は申請者負担とさせていただきます。			0 円	16,500円	33,000円	2023年11月15日(水)まで	2023年11月16日(木) 及び2023年11月17日(金)	2023年11月18日(土)
0 円	16,500円	33,000円							
2023年11月15日(水)まで	2023年11月16日(木) 及び2023年11月17日(金)	2023年11月18日(土)							
合格基準	100点満点中70点以上								
合否通知	2023年12月27日(水)までに、文書（申請者自宅宛て普通郵便）で通知								

※ 申請後、本会担当者からの連絡が特にない場合は申請が問題なく受理されたものと理解し、受験票が届くまでお待ちください。

3. 申請要領

- 1) 受験料33,000円を、次の銀行口座又は郵便口座に納入してください。振込手数料は、申請者でご負担願います。

(1) 銀行をご利用の場合

三菱UFJ銀行 駒沢大学駅前支店 (普通預金) 0394063

口座名義：公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会 試験係

(2) 郵便局をご利用の場合

口座番号：00190-6-536596

加入者名：日本VE協会 試験係

- 2) 必要事項を漏れなく記入のうえ、申請書の様式 1～様式 7 を前頁の申請受付期間内に本会事務局へ電子メールでお送りください。

〒154-0012 東京都世田谷区駒沢 1-4-15 真井ビル 6 階
公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会 事務局
TEL. 03-5430-4488 / E-mail : suzuki@sjve.org

4. 審査、認定・登録、登録更新について

1) 審査

(1) 書類審査

申請書で行います。

(2) 筆記試験

上記の書類審査で受験資格要件を全て満たしていると認められた方を対象に行います。

(3) 合否判定

- ① 資格認定部会が行います。
- ② 判定結果についての問い合わせには、一切お答えできません。また、判定に関する質問等にもお答えできませんので、あらかじめご了承ください。
- ③ 各人の得点は公表しておりません（受験者本人には、大まかな得点を文書でお知らせします）。

(4) 面接審査

筆記試験の受験者に、必要に応じて行うことがあります。

2) 認定・登録

- (1) 資格認定部会での審査結果について米国 V E 協会が正式に認定された後、米国 V E 協会が発行した認定証を交付します。
- (2) 申請書への虚偽記載、公表論文での著作権上の抵触、不正受験行為等が認められた場合は、筆記試験の結果に関係なく不合格又は認定取消となります。
- (3) 米国 V E 協会の倫理要領に反するような行為等が認められた場合には、登録が取り消されることがあります。

3) 登録更新

- (1) 上記の認定・登録は、2 年間有効です。再認定・再登録を受けるには、所定の手続きを行う必要があります。
- (2) 再認定・再登録の手続きについては、C V S 再認定申請要領をご覧ください。

5. 資格取得のための学習（受験資格要件「V E 学習経歴」を満たせる講座）

- 1) 米国 V E 協会からライセンスを受けている日本国内の V M F 1 及び V M F 2

<https://www.sjve.org/certify/cvs/wss>

2) 本会が主催している「バリューデザインスクール」

<https://www.sjve.org/school>

6. 参考図書

1) 新・VEの基本

発 行：産業能率大学出版部

本会販売価格：2,200円（税込）＋送料

2) はじめての企画・開発メソッド ～0 Look / 1 st Look VE

発 行：同友館

定 価：1,980円（税込）＋送料

3) VE用語の手引

発 行：公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会

定 価：1,320円（税込）＋送料

4) VEハンドブック普及版

発 行：公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会

定 価：11,000円（税込）＋送料

会員価格：9,900円（税込）＋送料

以 上